



登録調査員として名簿に登録  
されます。  
※調査区設定の都合上、登録さ  
れたすべての方に調査をお願  
いできるとはかぎりません。  
留意事項 総務大臣などの任命  
により、非常勤公務員として  
の勤務になります。調査上知  
り得た秘密は、かならず守っ  
てください。  
応募方法 所定の申込用紙に記  
入のうえ、市役所総合政策グ  
ループ（統計担当）へ提出  
※申込用紙は、市役所総合政  
策グループで配布。市ホーム  
ページからダウンロード可  
問合せ先  
市総合政策グループ（統計担  
当）  
☎52-1111（内線329）

2月3日(火)

## 怒りん坊鬼？泣き虫鬼？どんな鬼が退治できたかな？

高取幼稚園で年長児が大切に育てた大豆を使って、節分の豆まきが行われました。太鼓の音を合図に鬼が勢いよく園庭に入ると、園児たちは大騒ぎ！泣きながら先生にしがみつく子も、勇ましく立ち向かう子も「鬼は外！福は内！」と一心不乱に豆をぶつけ、鬼を退治しました。



先生が女の子に「どんな鬼を退治できた？」と聞くと「忘れん坊の鬼を退治できたよ！」と無邪気な笑顔で答えていました。

2月6日(金)

## 学んだことをいかしていくよ！ 吉浜小6年「総合学習・防災発表会」



吉浜小の6年生が、「防災」について総合学習で1年間学んできた成果を発表しました。ゲストティーチャーの石橋勝治さん(吉浜まちづくり協議会副理事長兼防災グループリーダー)からは、防災の心構えについての話があり、児童からは「家族といっしょに防災について話し合い、災害時に自分たちにできることを考え、行動に移したい。」といった前向きな声が聞かれました。

また翌週の「吉浜っ子フェスティバル」では、下級生にも災害の恐ろしさを肌で感じてもらうと、児童みずからさまざまな企画を考え、実施しました。子どもから大人まで、防災の輪がどんどん広がっていくといいですね。

2月7日(土)

## 白馬村の事例から「いざ、その時に」を学ぶ 防災ネットきずこう会「市民防災講演会」



昨年11月に発生した「長野県神城断層地震」の被災者で、特に被害が大きかった長野県白馬村の堀之内地区と三日市場地区から津滝俊幸さん(村議会議員)と太田史彦さん(三日市場区長)を招き、「その時、どう助け合ったか」をテーマに対談が行われました。

「2次災害を出さないようにとの思いから、プロパンガスの元栓や灯油タンクのバルブを閉めたり、ブレーカーを落とすことを注意し、2人1組で家の外から声をかけながら地域を回りました。」「揺れが収まってから、地縁団体の住民名簿をもとに安否確認を行い、外への避難を促しました。震度5強ながら死者・行方不明者ゼロだったのは、さまざまな条件に助けられた面もありますが、日ごろからの近所同士のゆるやかなつながりが大切です。」といった、実体験に根ざしたアドバイスがありました。

参加者からは「いざというときに、きちんと行動できる人材の育成が大切だとわかった。」「日ごろから備えや訓練、絆を育む活動をしていこう。」といった声が聞かれました。